

マダガスカル共和国の南東部では、食料危機や自然災害などの影響で子どもの栄養不良が課題となっています。農家や青少年の生計向上と母子の栄養状態改善を図るとともに、災害に対する回復力の向上を目指して活動しました。



生計向上を目的に、農業などの生計手段をもたない青少年へ、ライフスキルと職業技術の研修を行いました。研修を修了した308人に起業資金や備品を提供し、各自が活動を開始しました。



アフリカ大陸南東部沖の島国であるマダガスカルは、サイクロンで農地が流されたり、干ばつで農地を失うなど、気候変動によって食料危機に直面している国です。



養育者の中からリーダーを選出し、母子保健・栄養・衛生の研修を行うとともに、リーダーの啓発活動を通じて、地域の16,946人に働きかけ、住民自身が子どもの栄養不良を予防できるよう支援しました。



地域住民が中心となって、自然資源を守りながら生計活動を続けられるよう「地域行動計画」を策定しました。森林再生や果樹園の植林による「生態系の回復」と「食料供給量の安定化」の両立に取り組んでいます。

